

岡山県郷土伝統的工芸品 「撫川(なつかわ)うちわ」をロビーに展示

【期 間】平成26年6月11日(水)～7月17日(木)

【場 所】ホテルグランヴィア岡山 1Fロビー

ホテルグランヴィア岡山（岡山市北区駅元町、代表取締役社長 渡部 次拓）は、昭和57年、岡山県郷土伝統的工芸品に指定され、江戸時代には武士の内職として盛んに生産された「撫川うちわ」を、6月11日(水)からロビーに展示いたします。

今回の展示も、県外からのお客さまに岡山のさまざまな魅力を発信する当ホテルが継続している独自の企画に対し、撫川うちわ保存会「三杉堂」の石原中山氏にご賛同いただき、実現したものです。石原氏は保存会メンバーと講座による伝承活動や後継者育成に尽力され、伝統工芸品としての「撫川うちわ」の製作にも力を注いでおられます。

作品の特徴は俳句を詠み込んだ「歌つぎ」といわれる雲型模様と俳句に合わせた花鳥風月の「すかし絵」です。「歌つぎ」とは和紙に俳句の文字が全てつながるように筆書きしたものを下絵とします。そして俳句の文字に沿って灰色紙と地紙に分けた和紙を切り抜いて重ね合わせ、文字の右側と左側を極めて正確に切り抜きます。文字部分を切り抜いた後、その切り抜きが重なり合うと俳句が浮き出て見えるというものです。

また、うちわの骨作りは64本以上とし、竹は撫川近郊のものを使用するならわしになっています。

光にかざすと、浮かびあがる「すかし絵」と「歌つぎ」の俳句。手に取ってこの伝統工芸品のすばらしさをご覧ください。



【本件に関する報道関係の皆様方のお問合せ先】

ホテルグランヴィア岡山

〒700-8515 岡山市北区駅元町1-5

TEL(086)233-3498 FAX(086)234-7098

ホテルグランヴィア岡山 営業部 三宅 E-mail:miyake@granvia-oka.co.jp

坂本 E-mail:k-skmt@granvia-oka.co.jp